

- ◆企画名 2017年度入試誘導  
日 程 2017年2月1日(水)～2月8日(水)  
場 所 関西大学千里山キャンパス  
参加者数 19名(ピア・サポータ14名、研修生5名)  
目 的

- ・4月から関西大学の仲間(peer)になるであろう受験生に対し、誘導活動を行うことで、新1年次生へのピア・コミュニティの普及とピア・サポート活動の精神の涵養を目的とする。
- ・他のコミュニティのサポータとともに誘導活動を行うことで、サポータ同士の交流を促進し、今後の活動に生かす。

#### 内 容

主な活動は、受験生が試験会場を間違えないように、案内用プラカードを持ち、声をかけるなどして誘導を行った。具体的な活動として、受験会場がわからず、戸惑っている受験生を中心に声掛けをしたり、受験票を確認して、正しい受験会場に案内したり、受験生だけでなく、保護者の方や試験監督の方などの質問にも対応するなどした。

午後からは、試験を終えた受験生の帰り道の誘導を行った。具体的な活動として、関大前駅までの道順を積極的に声をかけて誘導したり、退出不可の道がある旨を受験生に伝えたいうえで、プラカードを持ってわかりやすく経路を説明したりするなどした。

#### 効 果

- ・関大生の一員として教職員や他団体の学生と一緒に受験生のサポートを行うことができた。
- ・ピア・コミュニティのジャンパーを着たことで、新1年次生へピア・コミュニティの広報を行うことができた。
- ・各配置に複数のピア・サポータを配置したことで、活動中はそれぞれサポータ同士の交流も行えたと思われる。

#### 改 善 点

- ・トランシーバで指示された情報を他のトランシーバを持っていない人に伝える際に、担当場所を一時的に離れなければならなかった。
- ・今回は、例年よりも多くのサポータが参加したこともあってか、急な欠席や連絡ミスが多かった。
- ・担当者間での情報共有がうまくいっていなかった。

#### 感 想

新アクセスを今年から利用したことや、電車の遅延が起きたことで、今までよりもイレギュラーな対応が多かったが、大きな問題もなく終わられたことはとても良かった。しかし、急な欠席による人員交代や連絡ミスが多かったため、シフト管理をもっと徹底すべきだった。朝早くから夕方まで一日中の活動であったが、参加者一人一人がピア・サポータとしての自覚を持って誘導を行っていたと思われる。来年度も今年度の反省点や改善点を活かして、今年度よりも多くの人数で入試誘導を行ってほしいと思う。